

2019年度 JCV 支援 レポート



2019年バヌアツ共和国視察

支援総額: 1億1,565万6,724円

★ ミャンマー連邦共和国



保健大臣の強いリーダーシップの下、同国のワクチン接種環境は徐々に改善しています。4年前には、ワクチンは自国で賄う努力をするのでコールドチェーン機器を中心に支援して欲しいとの要請があり、今も継続しています。しかし、保冷庫が設置されていない郊外や地方のクリニックは多く、遠隔地や国境地帯に暮らす子どもたちのワクチン接種率は十分ではありません。皆さまの支援でワクチンを届けるための保冷庫と温度計を贈ります。

【支援内容（2020 年向け）】43,714,338 円

■コールドチェーンなど：冷凍庫 112 台、アイスライン保冷庫 / 冷凍庫 100 台、ソーラー保冷庫 30 台、温度計、定電圧装置

🇇🇵 ラオス人民民主共和国



経済成長と共に、貧困削減や母子保健の改善などが見られるラオス。しかし、1歳児のうち、すべての推奨ワクチンを接種しているのは、わずか3人に1人です。遠隔地の子どもにワクチンを届けることは特に難しい課題で、ワクチン接種率は県や民族ごとに大きな差があります。政府はワクチン接種費用の予算を増やしていますが、まだ十分ではありません。皆さまの支援で今年生まれるすべての子どもに接種されるワクチンと接種機器を贈ります。

【支援内容（2020 年向け）】24,262,311 円

■ワクチン：MR（はしか / 風疹）223,530 人分
■コールドチェーンなど：注射器、使用済み注射器回収箱、プログラム管理費用

🇇🇵 ブータン王国

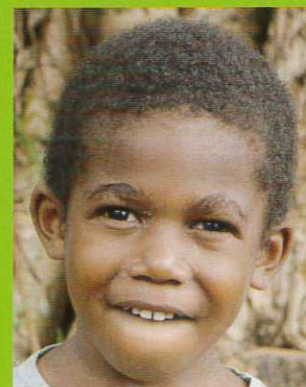


1991年に子どもワクチン接種が確立して以来、高接種率を保つブータン。その成果は、遠隔地や山間部に暮らす遊牧民族を含めたすべての子どもにワクチンを接種するために適正管理温度(2℃～8℃)を保ち届ける、現地の看護師やドライバーの努力に支えられています。皆さまの支援で今年生まれるすべての子どもに接種されるワクチンと接種機材、保冷庫を贈ります。

【支援内容（2020 年向け）】24,595,694 円

■ワクチン：経口ポリオ 95,000 人分、MMR（おたふく風邪 / はしか / 風疹）55,000 人分、BCG 140,000 人分、TD（破傷風 / ジフテリア）125,000 人分、B 型肝炎 8,000 人分、DPT（ジフテリア / 百日咳 / 破傷風）50,000 人分
■コールドチェーンなど：冷凍庫 7 台、ワクチンキャリアー 70 個、コールドボックス 45 個、注射器、温度計

🇇🇵 バヌアツ共和国



83の島から成るバヌアツは、現地のスタッフや看護師がボートで島々を渡りワクチンを運びます。整備された道路、水道や電気設備、医師や看護師、コールドチェーン機器など、足りないものを補うため、日々努力と工夫が重ねられています。皆さまの支援で今年生まれるすべての子どもに接種されるワクチンと接種機材、親やヘルスワーカーへの啓発活動を支援します。

【支援内容（2020 年向け）】23,084,381 円

■ワクチン：経口ポリオ 70,000 人分、五価（ジフテリア / 百日咳 / 破傷風 / B 型肝炎 / 髄膜炎桿菌 b 型 (Hib) による細菌性髄膜炎）29,000 人分、MR（はしか / 風疹）35,000 人分、TD（破傷風、ジフテリア）50,000 人分
■コールドチェーンなど：アイスライン保冷庫 6 台、注射器、使用済み注射器回収箱、保護者への啓発活動費用、ヘルスワーカー研修費用